

除雪対策本部を設置

除雪路線を10キロ延長

今年も雪のシーズンがやってきました。今年は平年に比べ、積雪が多く寒さも厳しいと予想されています。

市では、十二月一日から来年三月三十一日まで「除雪対策本部」を設置し、冬期間における市民生活の安全と地域産業経済活動の安定を図ります。

除雪計画路線

384キロ

除雪計画路線は、バス路線、主要幹線道路を主体に国道、県道との連絡路、通園・通学路な



除雪車は整備も終わり待機中

ど市民生活に影響の大きい路線が中心となっています。

市道の除雪延長は、三百六十・七・一・一で昨年より七・三・一・一、長くなりました。また、私道の除雪にも力を入れ、昨年より二・六〇四・四、長い二十三・六〇四・一を計画しており、市道と私道を合わせて三百八十四・三・一五・一の除雪を行います。さらに、歩道の除雪についても昨年より二・〇二・二、拡大して十五・八二三・一とし、雪道での歩行者の安全を図ります。

除雪車両 89台

除雪車両は、市の保有が十三台（グレーダー四、ドーザー五、ロータリー二、トラック二）、業者への委託車両が七十六台（グレーダー六、ドーザー四十四、

ロータリー二十五、ロータリー二）の計八十九台です。

降雪10センチで

除雪車出動

除雪車を出動させる目安は、「十センチを超える降雪があったとき」です。十センチ程度の降雪が予想されると、速やかに出動できる状態によつては、それ以下でも出動させることもあります。

冬は事故にご用心！



毎年冬になると、雪による事故が多く発生します。雪道に足をとられ、ころんで大ケガをしたとか、積雪のため道路幅が狭くなり車と接触した、雪下ろし作業中に屋根から落ちたなどの事故です。

これらの事故の大半は、1人ひとりのちょっとした注意によって避けられます。底の減ったブーツなどをはいていれば、当然すべりやすくなります。道路を横断するにしても、夏と冬とは歩くスピードが違うので時間がかかりますし、車も夏に比べて冬の制動距離が長くなり、スリップもしやすくなります。屋根の雪下ろし的时候には命綱をつけ、屋根の下に人がいないかよく確認して作業をすれば事故は少なくなるはずで

これらのことを今一度よく考え、今年の冬を安全で快適に過ごしたいものです。

また、各地域によって降雪量が異なるので、各地域から降雪情報を集めて出動指令を出すこととなります。

豪雪時（積雪が八十センチを超え、さらに降雪が予想されるとき）で本部長（市長）が特に指令したときには「大館市豪雪対策本部」を設置し、市民生活の安定確保に向けた除雪態勢をとりま

す。除雪計画路線三百八十四・一のうち、バス路線・幹線など重要路線の除雪を優先させ、その後速やかに残りの路線を行う計画です。

※除雪についての問い合わせは市土木課内「除雪対策本部」へ

☎49-3111

（内線302、305）

楽しくてユニークな手作り年賀状を募集

広報統計係では、皆さんの楽しくてユニークな手作り年賀状を募集しています。皆さんからいただいた手作り年賀状は、来年一月一日号広報で市民の皆さんへお届けしますので、奮って応募ください。

「書き方」

官製ハガキ（年賀ハガキは使わないこと）の表面に、送り先とあなたの住所、氏名、年齢、電話番号を書いてください。

裏面には、①イラストや漫画

②新しい年にやりたいことや将来への大きな夢……の二つを必ず記入してください。なお、絵や文字は太く黒一色で書いてください。

「送り先」

〒017 大館市字中城20番地
市企画調整課広報統計係

「締め切り」

12月12日（月）消印有効



▲63年1月号の作品